

技術・家庭科（技術分野）年間指導計画（第3学年）

授業内容	授業内容	場所	指導項目	学習活動・内容	教科書	時数	評価規準		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	電気スタンド 構想図（書き方・説明） ベースユニット配布	木工室	エネルギーの変換を利用した製品の構想	構想に基づいて設計し、構想図にまとめることができる。	P172 ～P185	2	構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる。	構想に基づいて製作の計画を立てる力を身に付けている。	自分なりの新しい考えや捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他社のアイデアを尊重し、活用しようとしている。
2	構想図べ切 ベースユニットけがき作業 ベースユニット切断作業	木工室					作業工程表を作成できる。	電気スタンドの土台の部分を自分のオリジナルの作品として工夫して加工しようとしている。	製品の部品表と部品をチェックしている。
3	ベースユニット 加工作業①～③	木工室	作業手順を考えて製作しよう。	安全・適切な製作や検査・修正ができる。効率よく切断・切削できる方法を理解する。	P48～60	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に適した工具・機械を説明できる。</li> <li>各工具・機械を使用するときの注意点をいえる。</li> <li>各工具・機械の使用方法を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の技能に応じて、工夫することができる。</li> <li>各工具・機械を状況に応じて合理的に使用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>作業工程表を作成している。</li> </ul>
4	電子部品はんだづけ①～③ 電子部品説明	金工室	電気回路を設計・製作しよう	課題を解決するための電気回路を製作することができる。	P172 ～P176	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>はんだづけの手順を説明できる。</li> <li>正確にはんだづけ作業ができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から説明書を見て進んで作業を行っている。</li> <li>意欲的にはんだづけの作業を行っている。</li> </ul>
5	金属加工 ねじづくり	金工室	作業手順を考えて製作しよう。	ねじづくりができるようになる。	P64	1	ダイス・タップ等のねじ加工工具の使用方法を理解している。	ねじを真っ直ぐに製作するためのバランスを考えて作業している。	ねじの製作過程・加工技術を主体的に調べようとしている。
6	アルミパイプソケット組み立て① 電源コード加工 電源プラグ組み立て ソケット組み立て	金工室	安全で正確なもののづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器を使って、正確なもののづくりを安全におこなうためには、機器のしくみを知り、日常の保守点検を確実にこなすことが大切であることがわかる。</li> </ul>	P62～66	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器のしくみを知る必要性を理解する。</li> <li>日常の保守点検の大切さを知る。</li> </ul>		
8	ベースユニット アルミパイプ ソケット プリント基板 組み合わせ	金工室	電気回路の組み立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路は負荷、導線、電源、スイッチの部分から構成されることがわかる。</li> </ul>	P172 ～P176	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路は負荷、導線、電源、スイッチの部分から構成されることが理解できる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路に関心をもち電気製品を組み立てようとしている。</li> </ul>
11	ベースユニット アルミパイプ ソケット プリント基板 組み合わせ	金工室		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種部品を製作手順を考慮し、組み立てることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>正確にコード処理ができる。</li> <li>正確に組み立てができる。</li> </ul>	機器のしくみを元に製作手順を思考し組み立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気スタンドの土台の木材加工の部分をオリジナル性を出そうと努力している。</li> </ul>
12	ベースユニット アルミパイプ ソケット プリント基板 組み合わせ 底板加工	金工室		<ul style="list-style-type: none"> <li>回路計を用いて、測定、試験ができる。</li> </ul>			P151	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成後回路計を使用し、導通試験、絶縁試験を行うことができる。</li> </ul>	
16		金工室	計測・制御システムについて	身のまわりにある計測・制御システムを調べる。	P236 P237	1	計測・制御システムの基本的な構成を理解している。		日常生活における計測・制御システムを主体的に調べようとしている。
17	計測制御①～③		計測・制御システムを構想しよう	計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つめる。	P240～P249	1	計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。	入力・出力されるデータを基に計測・制御システムを構想する力を身につけている	主体的にプログラミングを行っている。
18			問題解決の評価、改善・修正	計測・制御のプログラミングによって問題解決を振り返り、改善・修正方法を考える。	P250 P251	1		計測・制御のプログラミングによって問題解決を振り返り、改善・修正方法を考える。	主体的に問題解決を振り返り、改善・修正方法に取り組もうとしている。

授業時数合計

18